

○警察官の礼装の実施について(通達)

(昭和 50 年 4 月 30 日岡務第 379 号警察本部長例規)

改正 昭和 55 年 3 月岡務第 204 号 平成 20 年 1 月岡装第 12 号

令和 4 年 3 月 11 日岡務第 255 号 令和 5 年 9 月 27 日岡装第 191 号

各部、課、室、所、隊、校、署長

従来、儀式等に出席する場合の警察官の礼装については、特別な定めがなかったが、昭和 47 年 8 月 22 日付警察庁乙官発第 15 号・警察庁乙務発第 10 号の警察庁次長通達をもって、警察官の礼装が制度化され、警察庁では昭和 47 年 10 月 1 日から実施されている。

本県においてもこれに基づき、次のとおり岡山県警察官の礼装を実施することとしたので、運用上誤りのないようにされたい。

記

1 警察官の礼装

警察官の礼装は、礼服を着用するものとする(礼服は付図のとおりとする。)。ただし、制服(夏制服を除く。)に礼肩章及び飾緒を使用(以下「略礼装」という。略礼装は付図のとおりとする。)し、又は常装に白手袋を着用して礼装に代えることができる。

2 礼装する場合

礼装する場合は次のとおりとする。

- (1) 表彰式等公式の儀式に出席する場合
- (2) 拝謁等のため参内する場合
- (3) 外国の機関又は文武官を公式に訪問又は接受する場合
- (4) 前各号に掲げる場合のほか、所属長が儀礼上必要と認めた場合

3 礼装する場合の例外

私的な冠婚葬祭等の儀式で職員の申し出により、所属長が支障ないと認めた場合は、礼装することができる。

4 警察勲功章等の着装

礼装する場合における警察勲功章等の着装については、警察表彰規則(昭和 29 年国家公安委員会規則第 14 号)第 9 条第 2 項及び第 3 項に準ずる。

5 礼装する場合の拳銃等の携帯

礼装する場合の拳銃及び警棒の携帯は次のとおりとする。

- (1) 礼装する場合は、拳銃を携帯しないものとする。ただし、警察本部長が特に必要と認める場合は、この限りでない。
- (2) 略礼装する場合は、拳銃を携帯しないものとする。ただし、警察本部長が特に必要と認める場合は、この限りでない。

(3) 略礼装する場合は、警棒を携帯しないものとする。ただし、警察本部長が特に必要と認める場合は、この限りでない。

(4) 常装に白手袋を着用して礼装に代える場合の拳銃の携帯の省略については、警察官等拳銃使用及び取扱い規範(昭和 37 年国家公安員会規則第 7 号)第 11 条第 1 項の規定によるものとする。

(5) 常装に白手袋を着用して礼装に代える場合の警棒の着装の省略については、警察官等警棒等使用及び取扱い規範(平成 13 年国家公安員会規則第 14 号)第 8 条第 1 項の規定によるものとする。

6 弔意を表する場合の特例

礼装及び略礼装により弔意を表する場合は、飾緒をはずし、黒色無地のネクタイを着用するものとする。

なお、喪章については、警察本部長が特に必要と認める場合において着装するものとする。

7 礼服着用のせいー

公式の儀式で礼服を着用する場合、服装のせいーを期するため、その儀式を主管する所属長は、あらかじめ礼服着用者の範囲等について警務部長の指示を受けるものとする。

8 礼服等の調製、保管等

(1) 岡山県警察の調製した礼服及び礼装用属具は、警察本部装備課において保管し、必要の都度貸与するものとする。

(2) 礼服は貸与を原則とするが、必要により自費で調製することができる。

なお、自費で調製した私物の礼服は各自が保管する。

(3) 礼服及び礼装用属具の貸与を受けようとする者は、所属長を通じて礼服等貸与申請書(様式)により申請するものとする。

9 礼装実施の期日

警察官の礼装は、昭和 50 年 5 月 1 日から実施する。

様式

礼服等貸与申請書

[別紙参照]

付図

1 男性警察官

(1) 礼装

ア 礼服上衣

(ア) 前面



(イ) 後面

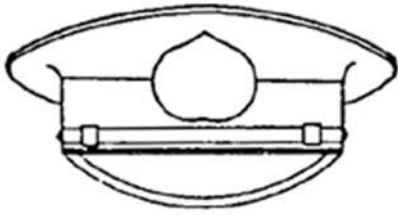


イ 礼装ズボン(右側)

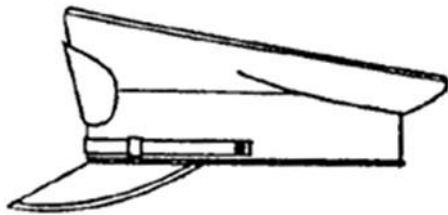


ウ 礼帽

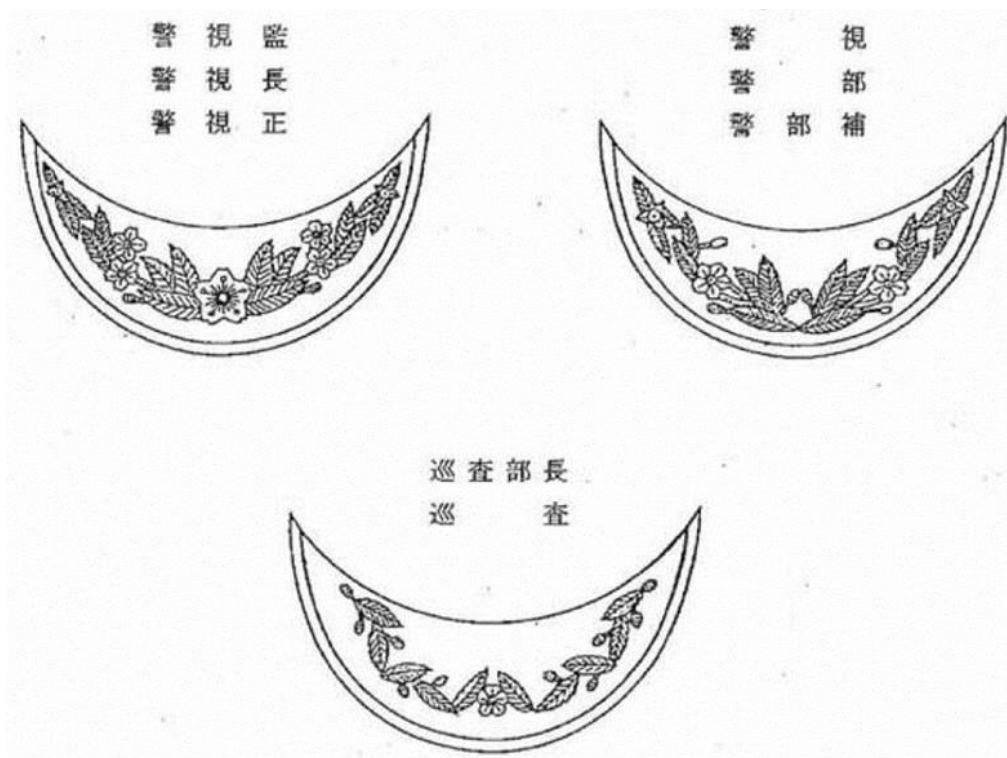
(ア) 正面



(イ) 側面



(ウ) 前ひさし



(エ) 記章

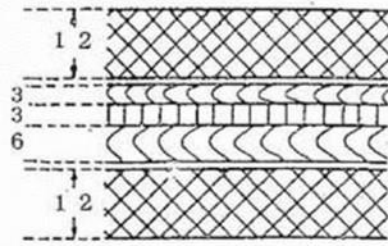


(オ) あごひも留め日章

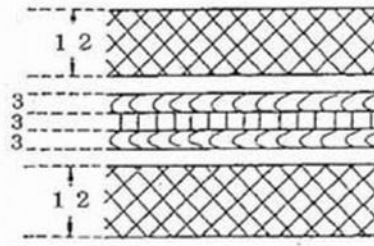


エ 帯章

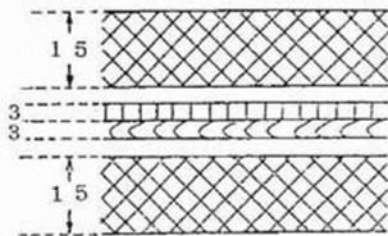
警 視 監
警 視 長



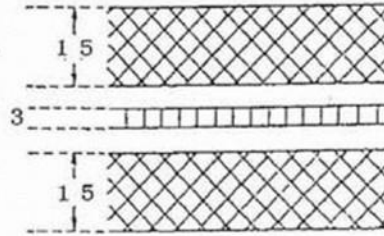
警 視 正
警 視



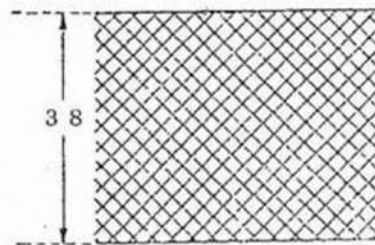
警 部



警 部 補

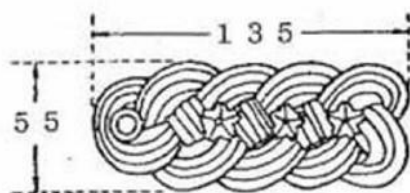


巡 査 部 長
巡 査

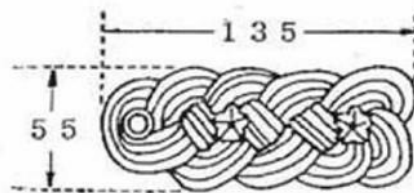


才 礼肩章

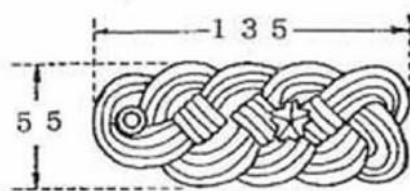
警 視 監



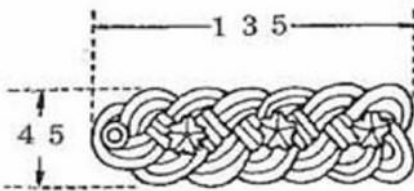
警 視 長



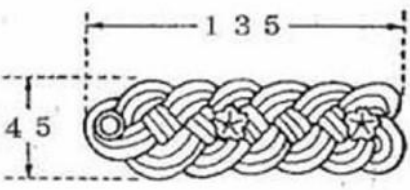
警 視 正



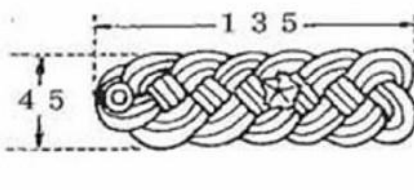
警 視



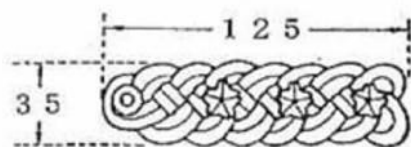
警 部



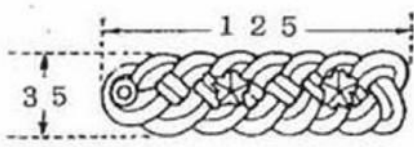
警 部 補



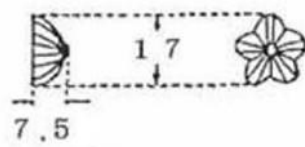
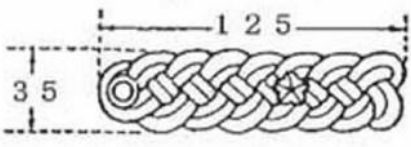
巡 査 部 長



巡 査 長 たる 巡 査



巡 査 長 以 外 の 巡 査



丸打ちひもの直径は、警視監から警部補までは4ミリメートル、巡査部長及び巡査は4.5ミリメートルとする。

カ 襟章、飾緒及び礼肩章の着装位置



(2) 略礼装



階級章は着装したままとする。

礼肩章—上衣の肩章に、日章が正面から見て大の字に見えるように、礼肩章のピンを肩章止め縫目からえり元方向に突き通して止める。

飾 緒—ピン側を右下えり裏のおおむね中央部に止める。

2 女性警察官

(1) 礼装

ア 礼服上衣

(ア) 前面



(イ) 後面

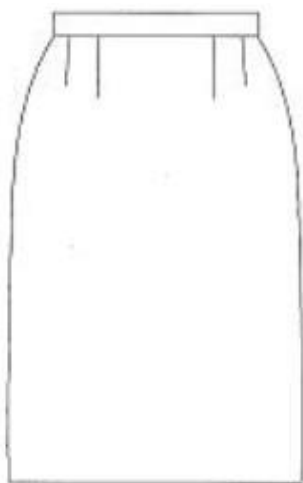


イ 礼服ズボン(右側)

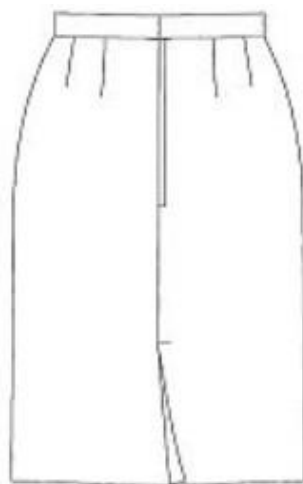


ウ 礼服スカート

(7) 前面

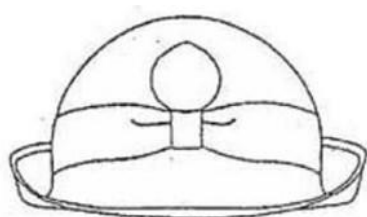


(4) 後面

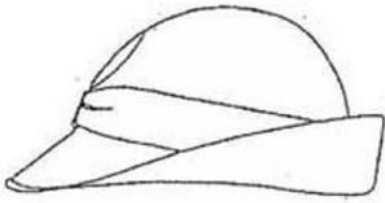


エ 礼帽

(7) 正面



(4) 側面



(ウ) 前ひさし

警 視 監
警 視 長
警 視 正



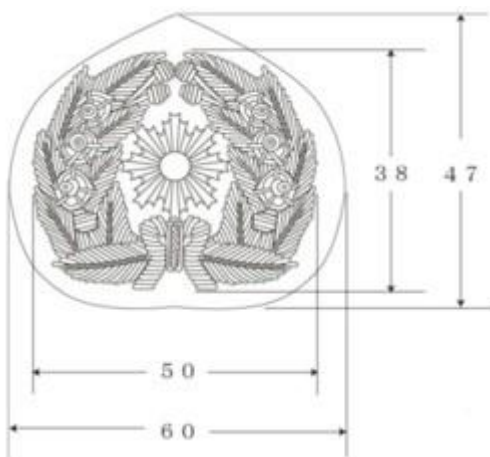
警 視
警 部
警 補



巡 査 部 長
巡 査

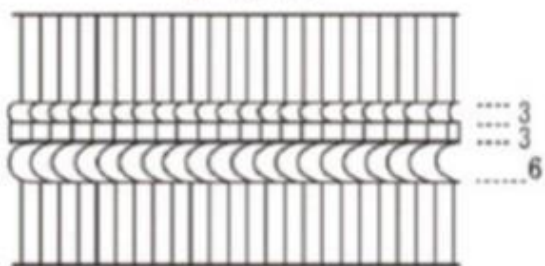


(エ) 記章

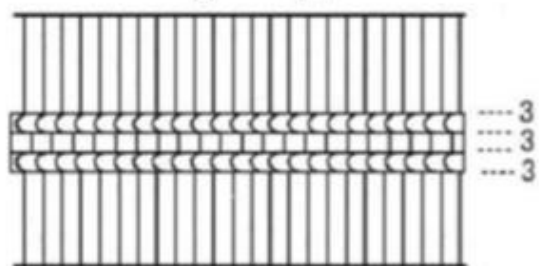


オ 帯章

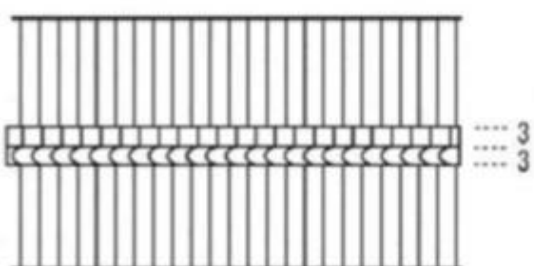
警 視 監
警 視 長



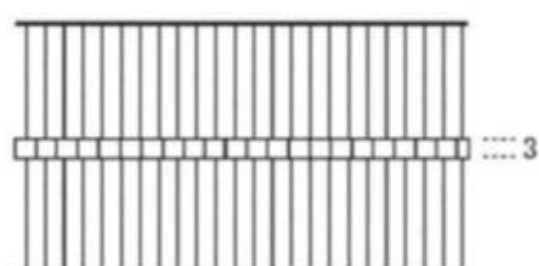
警 視 正
警 視



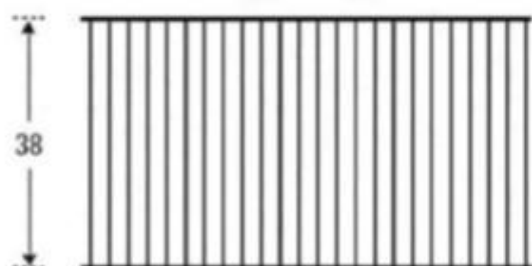
警 部



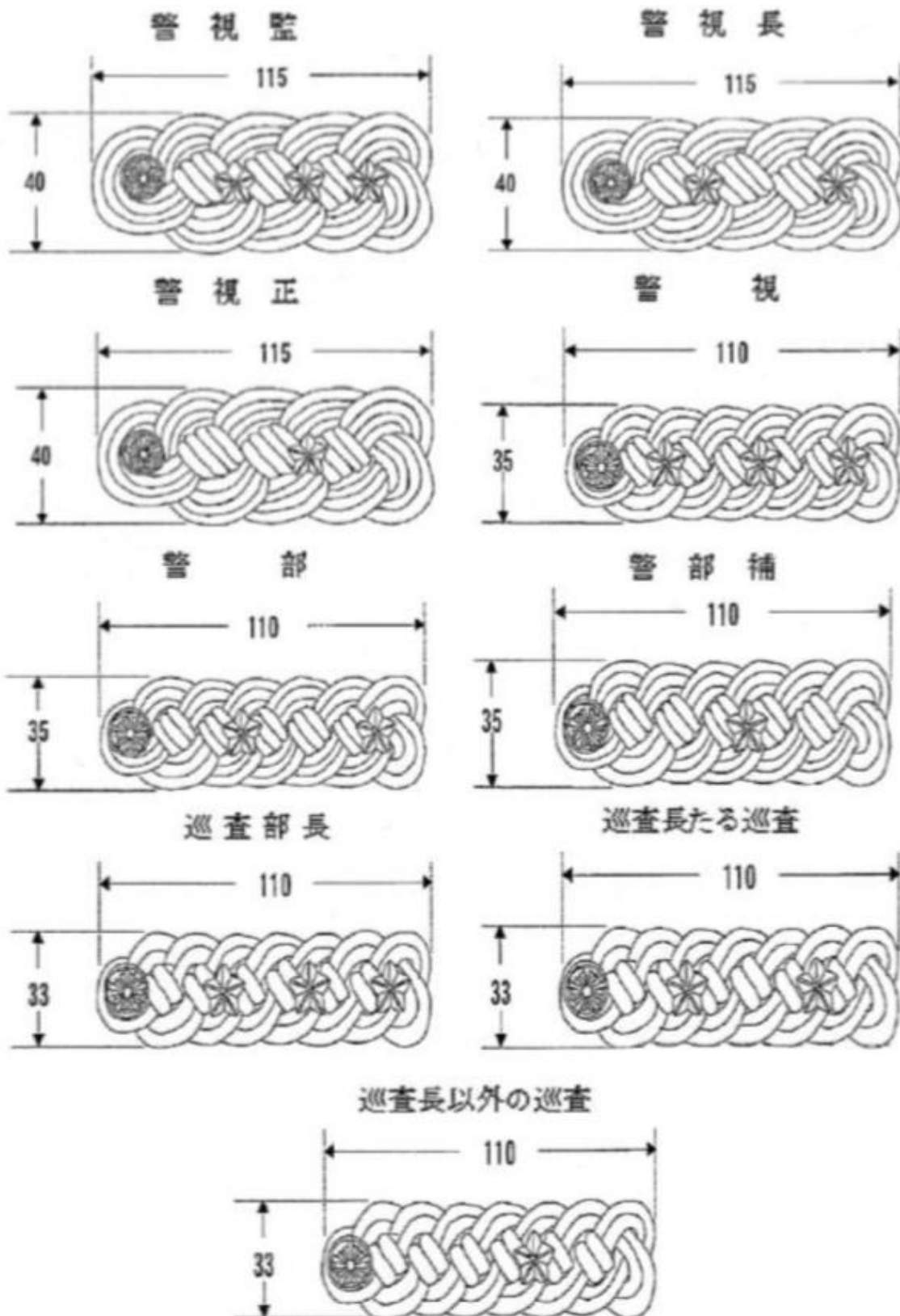
警 部 補



巡査部長
巡 査



力 礼肩章



キ 襟章、飾緒及び礼肩章の着装位置



(2) 略礼装



注 着装要領は男性警察官に同じ

3 男性及び女性警察官共通

(1) 飾緒

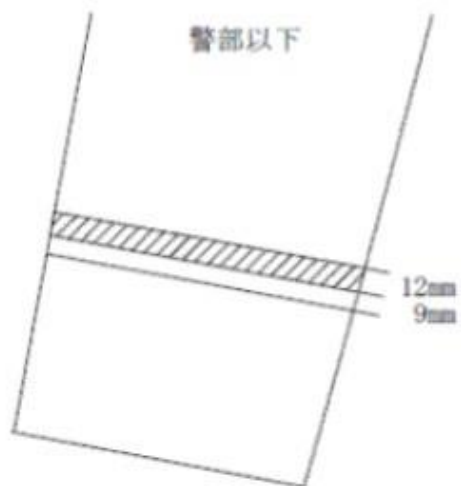
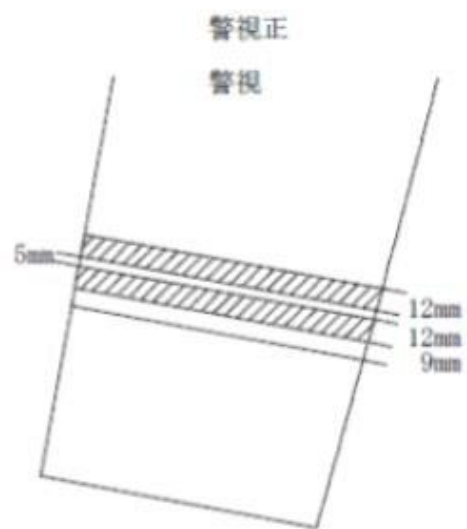
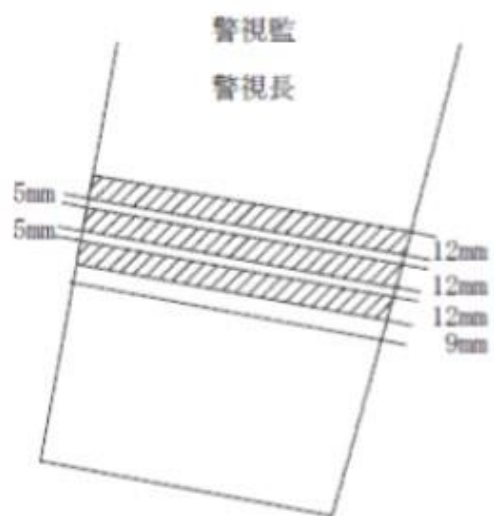
ア 冬礼服用



イ 夏礼服用



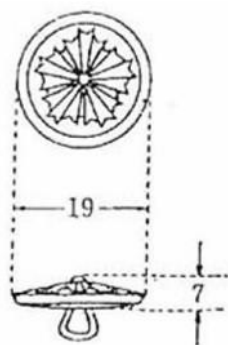
(2) 袖章



 縦織り黒線

 縦織り金線

(3) ボタン



(4) 襟章

